

# 保育の家しょうなんだより

第6号

十一月二十三日勤労感謝の日、子どもたちから日頃いろんなお仕事をしているお父さん、お母さん、お家の方に手作りのプレゼントを渡ししました。一昨年までは、父の日、母の日にプレゼントしていましたが、様々な家庭の事情を考え、昨年より父の日、母の日の代わりに勤労感謝の日にプレゼントを渡すこととしていて約百家族分を全園児百十名が力を合わせて作るのです。今年、ミニバッグを画用紙

いつもありがとう



## みんなで作りました

4、5歳児が編んだくみひも

5歳児が書いたメッセージ

3歳児が毛糸を通した袋

5歳児が編んだモールの三つ編み

2歳児が作ったマーブルの包装紙

0、1歳児がした手形べつたんとシール貼り

で作り、その中にもれもん会社のクッキーを入れました。

それでは、子どもたちの力作を紹介させていただきます。バッグの表裏の飾りは、0・一歳児がした手形のスタンプやシールと四・五歳児が作った組みひもです。バッグの両脇は三歳児が毛糸を穴に通してとめたもの。また、クッキーのラッピングは、二歳児の染め紙。そして、五歳児が三つ編みしたモールの持ち手を付け、一枚一枚丁寧に書いたメッセージカードを添えて完成！



## おひさま楽団さん来園

去る十一月二十五日、保育の家の誕生日会にポランティアグループ『おひさま楽団』さんが来て下さいました。メンバーは、坂本在住のお母さんたち九人で、童謡・唱歌などを中心にした『きく・みる・うたう・ふれる(楽器体験)』ことが出来る会場参加型コンサートを開いておられます。お母さんならではの温かみのあるステージということを知って、しょうなんの子どもたちにも聞かせてくださるよう電話でお願いしたところ快く引き受けて下さいました。

さて、保育の家では毎月誕生日会を開き、その月生まれの子ども(おとも)を園全体でお祝いしています。いつもは、職員から子どもたちへのプレゼントとして劇などの出し物をするのですが、十一月は特別なお客様が来られるということで子どもたちはもとより職員も楽しみにしていました。

普段は、全園児が集って行う誕生日会ですが、インフルエンザ感染拡大防止のため、0歳児から三歳児、

な姿が見られました。

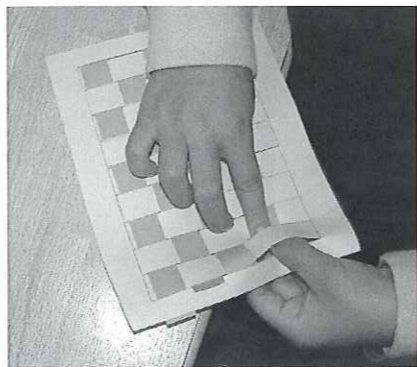
0・一歳児のシール貼りでは、丸いシールを顔のパーツに見立てて貼っている子がいたり、二歳児の染め紙には子どもたちの素朴な気持ちが入り込んでいるように市販のものより綺麗な仕上がりが目立ちました。組みひもをした四歳児は、皆とても真剣で一枚一枚の紙をゆっくり丁寧に組み込んでいました。三歳児の毛糸を穴に通し巻きつける作業や五歳児のモールの三つ編みは、子どもたちがやる気満々で百個分×二という膨大な量をわずか一日で仕上げられました。

それぞれの年齢の子どもが出来た作業を受け持ち、それを合わせることで完成した、全園児が取り組んだ作品。子どもたちには集団生活だからこそ経験できるこのような取り組みを通して少しずつ成長して行っていきたいと思えます。子どもたちや職員は勿論、お家の方にもこの作品に対して様々な思いを持っていただけたのではないかと考えています。この取り組みは、今後も保育の家しょうなんの大切な行事の一つとして続けていきたいです。

保育士 牧野香織理

四歳児から五歳児と、二部に分けての公演となりました。

さて、子どもたちの反応は... いつもと違った雰囲気と、何が始まるんだろうという期待とで、最初の十分間はあっけにとられ、ぼーっとしている子どもも多かったのですが、徐々にその場の雰囲気にも慣れ、何をしているのかわかってくると、歌に合わせて手拍子をしたり、「たぬきの歌何か知ってる？」との問いかけにも「げんこつやま知ってるー」と答えたり、知っている歌と一緒に口ずさむなどだんだん楽しむ姿が見られるようになりました。フルートやサクソフーン等、本物の楽器は勿論の事、珍しい手作りの楽器にも子どもたちは興味津々。一人ずつ楽器をお貸りして、おもちゃのチャチャチャの曲に合わせて鳴らす時にはとても嬉しそうに笑顔で、ずっと鳴らし続ける子ども達。その後、パネルシアターを見せて頂くと話に引き込まれ、いろんな仕掛けにアツと驚かされました。音楽とは年齢を問わず魅力的なもの、とても楽しい時間を過ごさせていただきました、感謝しています。 保育士 井嶋 萌



## しゅげき

(一歳児)

保育士が来年の春に向けて園庭にお花畑を作ろうと作業していた時のこと。お花の種を見て「Aちゃん」「お花のねた」

保育士 「笑」

チューリップの球根は、Bちゃん「あーたまねぎやあー」

(三歳児)

みんなが好きな松ぼっくりの歌。なぜかA君だけいつも

「松ぼっくりがあつたのね」「正解は「あつたよ」です。惜しい！」